

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		中学校体育大会事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和60年度～
	施策	学校教育の充実	種別	任意の事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進	市民協働	その他
予算科目コード		01-100302-05 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 中学校体育大会の開催経費、県中学校体育連盟大会、関東及び全国大会への参加経費を補助する。また、平成30年度から開始した守谷市長杯バスケットボール大会に係る消耗品費を負担する。
中学校体育連盟主催の大会事業及び関東、全国規模の各種大会への参加に必要な経費の一部を支出することで保護者の負担軽減による部活動の活発化を図るため、開始した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
中学校における体育・スポーツの健全なる普及及び発達に資するとともに、学校間のスポーツ交流を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
補助の対象となる大会の経費について、漏れなく補助をする。大会参加時バスについては、各学校において配車依頼を行っており、契約行為などを含む運用体制を整備していく必要がある。	中学校と情報を共有し、経費補助の事務を円滑に進める。（7月～11月） 【大会バス】 11月 近隣の市町村の状況確認 12月～1月 バス会社との打合せ 2月～3月 契約の準備 4月 契約（入札又は随意契約）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
補助の対象となる大会について迅速に把握し、余裕を持って経費補助の事務作業を進める。 大会バスの運用体制を整備する上で、バス会社と契約を結び、運行単価を統一する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	引き続き、中学校体育連盟主催の大会、ジュニアオリンピックカップ、守谷市長杯バスケットボール大会などに係る経費を負担する。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。見学・応援部員のバス代等は、昨年度から引き続き負担した。	継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。見学・応援部員のバス代等は、昨年度から引き続き負担した。 バスの契約については、実情に合わせた契約行為が困難であるとの結論に至り、中学校には、守谷市に指名願いが出ている事業者へのバスの配車を依頼するよう通知した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
大会に参加した生徒数（人）	682.00	1,272.00	1,372.00	1,230.00	1,230.00
負担金額（円）	10,505.00	232,000.00	177,000.00	20,033.00	20,033.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図る。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	15,499	19,335	15,619	19,318	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	100	1,195	139	600	0
	一般財源	15,399	18,140	15,480	18,718	0
正職員人工数（時間数）		101.00	87.00	75.00	0.00	0.00
正職員人件費		414	363	308	0	0
トータルコスト		15,913	19,698	15,927	19,318	0

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		給食提供事業		担当課	学校給食センター
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和44年度～
	施策	学校教育の充実		種別	法定事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進		市民協働	その他
予算科目コード		01-100104-04 単独	根拠法令・条例等	学校給食法，守谷市立学校給食センターの設置及び職員に関する条例，守谷市立学校給食センター管理規則	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
学校給食法に基づき，児童・生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るため，昭和44年5月から給食の提供を実施した。	児童・生徒の心身の健全な発達のためのバランスの取れた食事の提供と健康教育の一環としての学校給食の充実を図るため，献立の作成から，食材の購入，調理，配送を行う。（調理及び配送については，民間業者へ業務委託している。）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
栄養バランスの取れた給食の提供を通して，市立小中学校の児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに，食に関する正しい理解と健全な食生活を営むことができる判断力を養う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
食材の価格が年々上がってきており，栄養のバランスの取れた給食を安定して提供していくためには，給食費の値上げを検討する必要がある。 給食費の値上げについては，新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて検討する必要がある。	令和元年10月からの消費税引き上げによる食材等への影響や近年の食材の値上がり，他自治体の給食費を検証し，令和2年度に給食センター運営員会で適正な給食費について審議し，令和3年度からの給食費の改定を目指す。 令和元年度 消費税の値上げの影響等現状の検証 令和2年度 給食センター運営委員会で給食費に改正について審議，要綱改正，保護者への周知 令和3年度 給食改正
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
消費税引き上げによる影響や近年の食材の値上げの現状，また他自治体の給食費を参考に適正な給食を検証し，給食センター運営員会で審議し，給食費の改正をする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	児童・生徒が増加していくことが見込まれており，それに伴い賄材料費等が増加するため。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
食材の価格が年々上がってきており、栄養のバランスの取れた給食を安定して提供していくためには、給食費の値上げを検討する必要がある。	給食センター運営委員会において現状を説明し、来年度における値上げの検討について理解を得ることができた。 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、令和2年3月が学校の臨時休業になり、給食を停止し、再開に向けた準備を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
年間給食予定日数に対する実施日数の割合（％）	100.00	100.00	92.38	100.00	100.00
一部の献立の提供を中止した回数（回）	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	食材の価格は年々上がってきているが、賄材料費の予算内で提供している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	学校給食は、児童・生徒における学校生活に欠かすことができない事業であり、廃止や縮小をすることはできない。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	468,869	481,882	482,089	529,663	548,799
	国・県支出金	0	0	2	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	312,459	311,345	284,312	310,843	310,843
	一般財源	156,410	170,537	197,775	218,820	237,956
正職員人工数（時間数）		73.00	596.00	700.00	0.00	0.00
正職員人件費		299	2,488	2,872	0	0
トータルコスト		469,168	484,370	484,961	529,663	548,799